

研修7 教材・教具の効果的な活用について

○研修のねらい

「研修7」では、外国語活動・外国語科で使用する教材・教具を知り、授業において効果的に活用する方法について学ぶことを通して、学習内容に合わせて適切な教材・教具を選択できるようになることを目指します。

学習指導要領における教材・教具の考え方

外国語活動・外国語科では、教材は重要な役割を果たすものであり、教材の選定については十分な配慮が必要です。

3 指導計画の作成と内容の取扱い

(3) 教材については、次の事項に留意するものとする。

ア 教材は、聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことなどのコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を総合的に育成するため、1に示す五つの領域別の目標と2に示す内容との関係について、単元など内容や時間のまとまりごとに各教材の中で明確に示すとともに、実際の言語の使用場面や言語の働きに十分配慮した題材を取り上げること。

【小学校学習指導要領 第2章 第10節 外国語 平成29年3月】

題材の選定や教材作成において重要なことは、学習指導要領に沿った教材であり、各学年の目標、内容を踏まえたものであるかどうかという点です。

配布される教材や教科書以外にも、指導の充実を図るために、教師自身が教材・教具を作成したり、市販の教材を選定したりすることも考えられます。その際にも、各学年の目標、内容に合ったもの、児童の興味・関心に即した内容のもの、学級、学校の実態に合ったものであるかどうかを考慮することが大切です。

また、外国語の指導に当たり、児童の関心を高め、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につながるように活動に応じてデジタル教材等の活用も考えます。児童がコミュニケーションの目的や場面、状況等を意識した活動を行うことができるように効果的な教材・教具を用いることが大切です。

3 指導計画の作成と内容の取扱い

(2) 2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

オ 児童が身に付けるべき資質・能力や児童の実態、教材の内容などに応じて、視聴覚教材やコンピュータ、情報通信ネットワーク、教育機器などを有効活用し、児童の興味・関心をより高め、指導の効率化や言語活動の更なる充実を図るようにつとめること。

【小学校学習指導要領 第4章 外国語活動 平成29年3月】

教材・教具の授業での活用

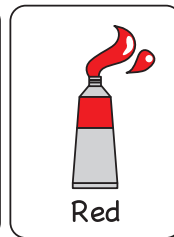
外国語教育における五つの領域の学びを深めるために、授業のねらいに沿って、HRT（学級担任）が教材・教具を効果的に活用することが求められます。

《教材・教具の例》

- ◇教材 「Hi, friends!」、 「We Can!」、 「Welcome to Tokyo」、 市販の教材 等
- ◇教具 カード（絵カード、色カード、かるた等）、絵本、写真、パンフレット、ポスター、広告、地図、地球儀、人形、CD、DVD、デジタル教材 等

【単元における「絵カードの活用」例：第5学年“When is your birthday?”】

絵カードには、そのものを表す絵とともに、単語を入れておく。



ラミネート等で補強しておく、長く活用できる。

時	目標	教材とその活用例
第1・2時	祭りや行事に関するまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉える。	<ul style="list-style-type: none"> ・映像資料を視聴し、それがどんなお祭りで、何月に開催されるのかを聞き取って発表する。 ・教材に載っている行事は何月かを予想し、音声教材を聞いて、答えを確かめる。
第3時	好きな物について尋ねたり答えたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・音声教材を聞いて、登場人物のイラストと誕生日を線で結ぶ。 ・誕生日カードのところに自分の名前を書く。
第4時	誕生日等を聞き取ったり、誕生日に欲しい物を尋ねたり答えたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日カードの“HAPPY BIRTHDAY.”の文字のうち、大文字の「H」と「B」を書く。
第5時	大文字の書き方が分かり、大文字を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼントしたい物の絵を描いて、“HAPPY BIRTHDAY.”と書き、誕生日カードを完成させる。
第6時	慣れ親しんだ表現を見て、意味が分かるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日カードに書いた“HAPPY BIRTHDAY.”などの慣れ親しんだ表現を推測しながら読む。
第7時	誕生日カードに書かれている誕生日を読もうとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日カードを贈り合い、カードを読んだり、書かれている内容について会話したりする。

研修7 教材・教具の効果的な活用について

○事前に準備する物

- ・ ICT 機器
例 電子黒板、大型テレビ、コンピュータ
デジタル教材（Welcome to Tokyo Elementary の DVD 等）
- ・ その他、研修に応じた教材・教具
- ・ 研修7「解説編」（P42、43） ・ 演習シート（P90、91）

○研修の留意点

- ・ 電子黒板（大型テレビ）にデジタル教材を映すなど、ICT 機器を実際に扱いながら研修を進めること。
- ・ 実際に授業で活用するイメージをもつために、教材・教具を活用した場面を録画して見せるなど工夫すること。

○研修例（45分）

時間	研修項目	研修内容	使用する物
5分	○教材・教具を効果的に活用する方法について共通理解すること。	○ウォームアップを行う。 ○研修のねらいを伝える。 ○学習指導要領において記載されている教材・教具の活用について説明する。	・ 本書P42、43 ・ ICT 機器 等
35分	○授業での教材・教具の効果的な活用方法について理解すること。	○実際に授業で使用するDVDや絵カード、ICT機器の活用について共通理解する。 【活動例】 ・ 学校にある教材・教具の中で活用が想定されるものを確認する。：5分 ・ 授業での教材・教具の効果的な活用について話し合い、演習シートを完成させる。：20分（グループ） ・ 各グループ発表の時間：10分	・ ICT 機器 ・ 絵カード 等 ・ 演習シート P90、91
5分	○研修を振り返ること。	○実際の授業で、教材・教具をどのように使いたいかについて考えを共有する。	

○研修例（15分）

時間	研修項目	研修内容	使用する物
5分	○教材・教具を効果的に活用する方法について共通理解すること。	○研修のねらいを伝える。 ○教材・教具を効果的に活用する方法について説明する。	・本書P 42、43 ・電子黒板
10分	○授業での教材・教具の効果的な活用方法について情報交換すること。	○実際に授業で使用しているDVDや絵カード、タブレットPC等を扱いながら、授業でどのように活用しているのか、活用できそうか、情報交換の場をもつ。	・コンピュータ ・デジタル教材 ・Welcome to TokyoのDVD ・絵カード

教材・教具の活用の実際



教材・教具を使って



研修7 教材・教具の効果的な活用について

研究協力校で実際に行った研修では、研究授業後、「教材・教具の効果的な活用について」の研修を15分実施しました。授業で使用した教材の説明を受け、グループで演習を行いました。また、授業でどのように活用しているのか、活用できそうか、情報交換の場をもちました。

独自教材の活用について

コラム

- 東京都では独自の教材や指導資料が出されています。例えば
- ・「Welcome to Tokyo Intermediate」東京都教育委員会 平成28年3月
 - ・「Welcome to Tokyo Elementary」東京都教育委員会 平成28年3月
 - ・「Welcome to Tokyo Basic」東京都教育委員会 平成28年3月
 - ・「オリンピック・パラリンピック学習読本」東京都教育委員会 平成28年3月
 - ・「小学校第3・4学年外国語活動指導資料」東京都教育委員会 平成29年8月
- これらの教材や指導資料を効果的に活用します。